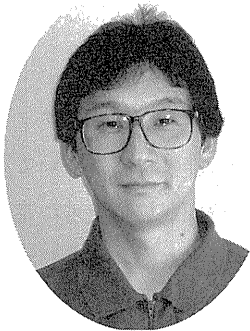


# ずいそう



## 最近の学生は

建山和由

あと2,3年で私の娘と同じ年の新入生を大学に迎えます。そう思うと、学生の見方が最近少し変わってきました。今まで同じ年代とまでは言わないまでも、近い年代と少なくとも私は思っていたのですが、親子の差があるとすると、とても近いとはいえません。自分の個人的な節目で学生の見方も変わるものです。

自分が大学生の頃、「最近の学生は」と当時の先生方からよく言われました。あれから25年、そう思うと私も「最近の学生は」とつい口にしたくなることが多いことに気がつきました。最近の学生像をあらためて見てみようと思います。

まず言えることは、最近の学生はお酒を飲まなくなったということです。もちろんお酒の好きな学生もいますが、一般的に進んでお酒を飲みたがる学生は少なくなりました。私が学生の頃は、夜な夜な先生の部屋に忍び込んでロッカーの中から洋酒を持ち出して飲んでいました。アルコールであれば何でもOKという学生がたくさんいて、エチルアルコールなら薄めれば大丈夫というような会話も聞こえていました。今では、研究室に洋酒や焼酎がおいてあっても一向になくなる気配はありません。お酒が飲めない訳ではないようですが、好んで飲もうという人は多くはありません。

以前は、お酒を飲むとついつい羽目を外すことも多々ありました。バス停のベンチや店の看板が研究室にごろごろしていました。教授の先生に怒られて、こっそりと返しに行ったことが何度かありました。コンパをすると、当分来ないで下さいとお店の人に言われたこともありました。なぜか怪我人が続出したときもありました。今は、そんなことも見られなくなりました。

麻雀をしなくなったことも最近の傾向のようです。毎日通った雀荘も今では無くなってしまいました。最近の学生は麻雀をパソコン上で楽しんでいます。

昨日、用務員さんから愚痴をこぼされました。講義の終わった後の講義室に弁当ガラやペットボトル、空き缶が床に散在しているとのこと。ゴミ箱がすぐ近くにあるのに捨てに行かず、辺り構わず置いて行くそうです。以前は、それほどひどくなかったと思うのですが、最近には確かにひどい状況です。

就職に関しては、皆かなり真剣です。Webサイトや会社案内を精読し、自分の進路を探しています。面接の練習までしています。最近の世相を反映しているのでしょう。以前は、結構

安易に決めていました。

数え上げればまだまだありそうですが、ここでこれらの傾向を分析してみましょう。確かに、以前と比べると変わったといえます。これは彼らのおかれている環境がここ四半世紀で随分変わったからだと思います。今の大学生は、自分から苦労して集めることをしなくても物と情報が周りにたくさんあって、それらをうまく使っています。以前は、遊びといえば研究室で酒盛りか麻雀しかなかったので否応なくはまっていたのですが、今は他に楽しいことや遊べる場所がざらにあり、わざわざ不健康な遊びにのめり込むことは無いと言うことかもしれません。研究室でもみんなで群れて遊ぶことよりも、個々人が自分の好みで生活しています。このためか、今の学生諸君は、以前に比べると自己主張がしっかりしているように思えます。

反面、有り余る物と情報が災いして、それに振り回されていることも多いようです。デパートでたくさんの服の中から自分の好みの服を探すのが難しいように有り余る情報は決断を阻害します。情報が有り過ぎるばかりに、いつまでたっても決められないというケースをよく目にします。また、物が豊富だと、その扱いが雑になりがちです。ゴミの話もその一端でしょう。

情報や物が有ることが当たり前になってしまったがために、それらが無いと途端にそこで止まってしまうことも多いようです。無かったら自分で探すか、あるいは無くても工夫して何とかするという経験が希薄な分、よく言われるようなマニュアル人間になってしまっている傾向は確かにあるようです。

研究室で群れて遊ぶ機会が減ったためか、研究室での協調性やグループとして共同で行動するという意識も薄くなったようです。クラブに属している学生は、昔と変わりませんが、クラブ活動をしていない学生は、最後まで研究室に溶け込めないでいることもあります。

こうして考えると、確かに最近の学生は以前と違うようですが、それは、彼らのおかれている環境によるところが大きいのであって、必然の結果といえます。「最近の学生は」というと今の学生諸君を悪く言っているように聞こえますが、自分が学生の頃も決して誇れた学生生活を送っていた訳でもなく、かえって今の学生諸君の方がスマートに生きているかもしれません。正直なところ、最近の学生に何となく物足りなさを感じていたのですが、我々が自分の学生時代の頃のイメージに囚われすぎて、今の学生諸君を縛ってしまっていることも多いのではないかと反省する今日この頃です。